

附属中だより



令和3年8月
第5号

夏季休業中も活躍

■IBARAKIドリームパス■

エントリーしたグループのほとんどが高校生の中、附属中1年生（大嶋さん、大塚さん、大山さん、齋藤さん）の4名が地元牛久市の商店街を活性化させる企画で見事一次審査を通過し、二次審査のオンラインによるプレゼンテーションに臨みました。二次審査の前に、プレゼンテーションのプロである校長からアドバイスを受け、8月8日に本番を迎えました。



カメラの前で知らない相手に話をすることに緊張した様子でしたが、審査員である企業の方からの厳しい質問にもその場で考えながら回答し、企画をアピールできました。

残念ながら二次審査は通過できませんでしたが、中1でここまでの企画を立ち上げられたことは素晴らしいとの、お褒めの言葉をいただきました。

■関東水泳大会■

8月7日～8月9日に横浜国際プールで、第45回関東中学校水泳競技大会開催されました。県の予選を突破し、1年生の高橋瑛莉奈さんが女子200Mバタフライに出場しました。

新型コロナウイルスの影響で、無観客での大会開催となりましたが、関東大会とあって、女子200Mバタフライだけでも50名を超える選手がエントリーしました。

バタフライ、しかも200Mという体力のいる種目で、上位入賞とはなりませんでしたが、1年生ながら、各都県代表の2、3年生を相手に、全力の泳ぎを見せてくれました。

まさに文武両道。これからの頑張りに期待しています。



学習サポート



7月22日から始まった夏休み。宿題はもちろんあります。

「やらなくては。」と思っけていても、ついゲームをしてしまったり、調べ学習でインターネットを検索していたら、つい他の動画を見てしまったり……。授業でやったはずなのに、どうしてもわからない問題があつて、「もういやだ。やる気なくなった！」などということはよくあることです。

附属中では生徒のために、夏休み中も教室を自習室として開放し、いつでも質問を受けられるようにしています。

また、通学に時間がかかる生徒や茨城県非常事態宣言発表後の8月17日以降には、オンラインによるサポートを行っています。

生徒は自分の学習状況を、毎日Google classroomで担任に報告しています。担任は学習状況を確認しながら、「数学が進んでいないみたいだけど、どうした?」、「『the』を付けるのは~の場合だよ。」などと学習に関する相談を受けたり、夏休み中の生活や悩み事を聞いたりと、画面越しではありますが、1対1で生徒のサポートをしています。

「宿題が終わってないから学校に行きたくない。」などということのないよう、一人一人を大切にしながら、夏休み中も生徒を見守っています。

小学校の先生方へ

本校の学校案内が完成いたしました。遠方の小学校にはすでに郵送でお届けしておりますが、近隣の学校には直接お届けにお伺いしようと準備をしていた矢先に、茨城県非常事態宣言発表されました。しばらくの間は小学校への訪問を控えようと考えております。お手元にお届けできるまでの間は、本校のホームページにPDF版をアップしておりますので、そちらをご覧ください。

いよいよ学校に生徒が戻ってきます。9月から、分散登校になるのか、オンライン授業になるのか今の段階ではわかりませんが、どのような状況でも学びを止めない附属中を継続して参ります。

いずれ時期が訪れた時には、先生方にも是非、生徒の学習の様子をご覧いただきたいと考えております。

お問合せ 0297-62-2146
(龍ヶ崎一高附属中 教頭 内川)

